

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者の評価結果について（平成28年度中間）

1 地域活動協議会の現在の状況についての分析

評価項目

「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）」

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」についての分析
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」についての分析
- (3) 「Ⅲ 組織運営」についての分析
- (4) 「Ⅳ 区独自取組」についての分析

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ等で課題を共有することで、地域内構成団体相互の関係づくりに繋がった。将来ビジョン共有のための支援が必要。 ・構成団体長会議等の中で、具体的にモデルケースを提示しながら、意見を聞いて、必要性を訴えた事により理解が進んだ。 ・組織運営、会計、広報等の必要性を重点的に訴え、きめ細かく対応できたことが効果に繋がった。

2 事業の実施内容（支援策（取組）の内容）

評価項目

「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）」

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の提案内容
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の提案内容
- (3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の提案内容
- (4) 「Ⅳ 区独自取組」にかかる支援の提案内容

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的なワークショップの開催などにより、より一層の地域課題等の把握及び将来ビジョンの共有に努めていただきたい。 ・多様な担い手が活躍できる機会や場の創設を図っていただきたい。 ・自律に向けたニーズ把握と、地域に応じたきめ細やかな支援を行っていただきたい。

3 事業の実施体制等

評価項目

- (1) 自由提案による地域支援の提案内容
- (2-1) スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる提案内容
- (2-2) フォロー(バックアップ)体制等にかかる提案内容
- (3) 区のマネジメントに対応した取組にかかる提案内容

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・プロボノの活用など、専門スタッフによるバックアップが行われている。また、連絡調整のため会議を定例的に行い、区との連携が図られている。

4 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）（5つ以内）

評価項目

区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的なワークショップの開催などにより、より一層の地域課題等の把握及び将来ビジョンの共有に努めていただきたい。 ・多様な担い手が活躍できる機会や場の創設を図っていただきたい。 ・自律に向けたニーズ把握と、地域に応じたきめ細やかな支援を行っていただきたい。

5 現時点での支援策（取組）の実施状況に対する区の評価及び意見

評価項目

(1) 現時点での支援の実施状況

(2) 上記を受けた、年度後半の支援についての考え

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・形成済の全地域活動協議会について、ステージ1の項目は全地域で達成。ステージ2の各項目のうち7項目の達成地域は4地域。 ・「地域課題への取組」「つながりの拡充」の課題解決に向けた具体的な支援を重点的に進めてもらいたい。

6 総合評価

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ等で課題を共有することで、地域内構成団体相互の関係づくりに繋がった。構成団体長会議等の中で、具体的にモデルケースを提示しながら、意見を聞いて、必要性を訴えた事により理解が進むなど支援が有効に実施されたことを評価する。 ・今後、将来ビジョン共有のための支援が必要。 ・自律に向けたニーズ把握と、地域に応じたきめ細やかな支援も行っていただきたい。

(評価基準)

- S : 本市の求める水準を大幅に上回る効果が得られた
- A : 本市の求める水準以上の効果が得られた
- B : おおむね本市の求める水準どおりの効果が得られた
- C : 本市の求める水準の効果が得られていない